

東日本大震災から10年、命を守る震災対策を!



阪神淡路大震災

東日本大震災から10年。1995年の阪神淡路大震災、2014年の御嶽山が噴火、2016年熊本・大分地震、島根県中部地震、2018年大阪北部地震など発生。先日も東日本大震災の余震といわれる強い地震がありました。

今後30年のうちに、首都直下地震なども7割の確立で起こりうるとされています。阪神淡路大震災では、6434人の犠牲者を出しましたが、その多くが密集市街地の老朽木造住宅の倒壊による圧死でした。住宅の耐震強化が求められます。実際、熊本地震でも木造住宅の外観状況で「崩壊」と判定された多くが、1981年以前のものです。1981年以降の耐震基準が強化されたことにより、被害の程度が軽微になっている。木造密集地域を多く抱える荒川区にとって

「燃えない」「倒れない」

震基準が強化されたことにより、被害の程度が軽微になっている。木造密集地域を多く抱える荒川区にとって「燃えない」「倒れない」求められている。財政支援も含めた公助を拡大すべきです。

「逃げない」街づくりが必要で。しかし、居住者の高齢化や借地借家などの複雑な権利関係、住宅の耐震化しなくても資力が貧しく断念せざるを得ない現実があり、耐震診断と耐震補強を住民の実態にそって対象を拡大することが必要です。そのため、墨田区では生活優先の改善事業のすすめ、区独自の「倒壊から人命を守ることを目標とした簡易改修工事」の助成制度もつくって促進しています。

また、老朽木造アパートなど弱小権利者のための安価な家賃の公的住宅の建設などが必要ではないでしょうか。

屋内安全対策では、家具転倒落下防止対策で一定前進しましたが一方、感震ブレーカーの普及は設置助成や高齢者世帯への無料配布事業により前進したものの、「感震ブレーカーを知らない」人は52・7%にも上り普及啓発が強く求められている。財政支援も含めた公助を拡大すべきです。



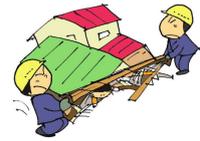
区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています

日本共産党荒川区議員

小林行男

区政ニュース

NO. 808
2021. 3. 14
区議会控室
TEL 3802-4627
FAX 3806-9246
Email: arajcp@tcn-catv.ne.jp
ホームページ
http://www.tcn-catv.ne.jp/~jcp/ara/
東尾久相談室
東尾久2-37-3
TEL・FAX
3895-0508



C02濃度測定器を商店や学校などへの設置促進を!

新型コロナウイルスリスクの軽減には、換気が有効です。そのため換気の「見える化」をすすめる必要があります。その有効な方法の一つが、CO2（二酸化炭素）濃度を測定する方法です。

荒川区内（はっぴーもーる熊野前）でCO2濃度計を導入した飲食店がテレビ朝日「報道ステーション」や新聞で紹介され、反響を呼び、荒川区産業振興課のあらかわ産業ナビでも紹介されました。



同僚議員と一緒に、昼食時に訪問し話を聞いたところ、入り口には換気良好と書かれていて、コロナ禍で大変な時ですが若い方、お子さん連れのお客さんも多く、経営者のがんばりがわかったとの話でした。

東京都が商店街を対象に新年度からCO2測定器を含むコロナ感染拡大防止の物品購入の経費を補助する予定です。区は、商店街に周知を図り商店街振興を推進していくと本会議答弁で表明しました。

小中学校などに設置を…共産党区議団が要求

3密状態の学校も換気の「見える化」が重要になっています。現在、尾久小学校には2台の測定器を設置し換気の必要度を把握し、他校にも情報を提供しているようですが学校規模や構造の違いもあり、各校に置くべきです。福祉施設や病院等へも区として設置すべきとの質問について、区は、検討する必要があると認識していると答弁。共産党区議団は、設置を予算化を含めた「予算組み替え動議」を提出しています。



お詫びと訂正

先週号で国民健康保険料の改定案で「40歳未満の給与所得者などでは値下げ」と記載してしまいましたが、65歳以上の低所得者世帯以外の方は、結果として値上げになります。お詫びして訂正します。



法律相談会



毎月第3火曜日（午後6時から）北千住法律事務所
の弁護士による法律相談会
をおこなっています。
できるだけ事前にご連絡ください。

3月の相談会は、3月16日（火）

尚、お急ぎの方は、弁護士事務所にて、ご相談できますのでお気軽に声をかけてください。

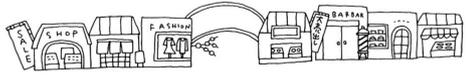
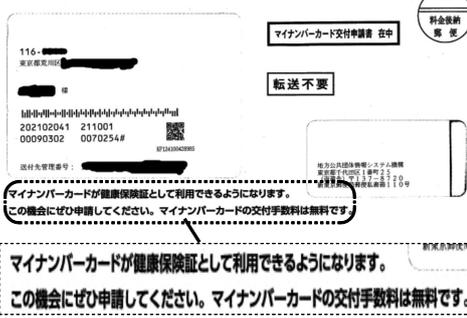
マイナンバーカード「健康保険証で使えます」!?

いまマイナンバーカードは

地方公共団体情報システム機構が国民にマイナンバー交付申請書類を郵送しています。荒川区では、乳幼児と75才以上を除く区民16万8千人に、12月30日～3月17日の間9回に分け発送しています。

マイナンバーカードは、国民の多くは「利便性」も「必要性」も感じておらず、個人情報漏えいの危険性もあり普及が進んでいません。実際2016年1月交付開始から5年経過しても普及率23%（荒川区2月21日現在61,072枚・28・13%）にしか過ぎません。

しかし、政府は、マイナンバーカードの普及を一気に進めるため、今年3月からの健康保険証との一体化です。



マイナンバーカードを健康保険証で使うには…

- ① **区民**：マイナンバーカードと被保険者番号の関連付ける「初回登録」が必要。
- ② **病院薬局**：顔認証付きカードリーダーや専用保険資格確認端末の準備、ネットワーク環境の整備、レセプト・電子カルテ等システム改修などが必要です。

いまやるべきは減収補填など医療機関への支援です

政府は3月までに申し込めばカードリーダー（1台9万円）を無償提供、他の費用も補助するとしています。セキュリティやメンテナンス、ランニングコスト等医療機関の負担です。



コロナ禍で医療現場は疲弊し、減収に苦しんでいます。マイナンバー関連ではなく減収補填や医療従事者支援こそ急がれます。

マイナンバーカードなしでも保険証で今までどおり…

厚労省は「転職・結婚・転宅などでの健康保険証変更・発行を待たなくてよい」メリットを宣伝します。データ流出、ウイルス侵入、ハッキングなどの危険をぬぐえません。

荒川区は『マイナンバーカードがなくても保険証で大丈夫』と広報すると議会で約束しました。

自然公園に3年ぶりに白鳥がやってきた!



3月4日、荒川自然公園の「白鳥の池」につがいの白鳥が。2018年に先代の白鳥が老衰で亡くなって以来、多くの区民から熱い要望があり実現しました。



久しぶりに自然公園に行ってきました。区では30年以上清掃していなかった人工池・「白鳥の池」の清掃。千葉県富里市にある動物飼育所から到着した2羽のコブハクチョウ。「新しい環境で白鳥が寂しくならないように」との配慮からコールダックというアヒルも。

荒川自然公園は東京都下水道局三河島水再生センターの上に人工地盤を造って設置された公園。昭和57年に「新東京百景」に選定され、東京都を代表する景勝地の一つとなっています。

スポーツセンター利用料 障害者免除の拡大など改善へ



現在、65歳以上の方と身体障害者手帳3級以上、愛の手帳は3度以上の方は無料です。区は来年度、障害の等級にかかわらず、障害手帳保持者と指定難病の方も無料にすること、合わせて他の区施設についても、同様の検討をすることを明らかにしました。

また、介助者も必要に応じて無料としています。区やスポーツセンターのホームページ等に記載がありません。わかりやすく記載することも約束。リニューアルして1年。エレベーターの増設、プールのスロープやリフトなどもできました。

スポーツセンター内使用料金(改定後)		
施設	改定額	利用単位
大体育館	600円	3時間
小体育館		
第一武道場	500円	
第二武道場		
弓道場	400円	
スタジオ(新設)		
エアライフル場	600円	
卓球場	500円	
トレーニングルーム	600円	2時間
温水プール		



○東京大空襲。1945年3月10日、一夜で10万人の命が奪われました。約300機の米軍B29爆撃機が大量の焼夷弾を投下、下町一帯を火の海にしました。東京だけではありません。全国約400市町村にも及びます。国がはじめた戦争で無数のいのちが奪われ、生活が破壊されました。再び戦争を起こさせない。

